

飲食店、炊き出し協力 困窮者支援の輪広がる



博喜 喜博史
中横内 田中横内
(055)231-3111
FAX 231-3161



吉田のうどんを提供した山本健一さん(写真中央) 甲府市中央2丁目

NPO法人やまなしライフサポートが甲府カトリック教会(甲府市中央2丁目)で生活困窮者を対象に行っている

炊き出しに、県内の飲食店が協力する動きが出ている。すでに市内の吉田のうどん店が作りたてのうどんを振る舞い、今後、ラーメン店も参加する予定。NPOは支援の広がりを歓迎している。

もあり、協力を始めた。2月27日には、店舗で販売するメニュー「肉うどん」を50食振る舞った。訪れた人からは「こしがあっておいしい」と好評。山本さんは「今後も続けたい」と話す。

山本さんはほかの飲食店にも参加を呼び掛け、県内で二元祖とんこつ久留米ラーメン山亭などを運営する山村智幸さん(37) 南アルプス市が協力を申し出た。NPOの炊き出しは2009年から実施。毎週木曜、土、日、月曜は調理したカレーや親子丼、みそ汁などを路上生活者や生活保護を受けている人などに提供している。

でも、新たな形の支援はありたい」と感謝している。〈文化・くらし報道部 高野芳宏〉

花子の学習成果を英和中高生が展示

27日まで市立図書館

山梨英和中高の生徒が、かつて山梨英和女学校で教師を務めた甲府市出身の翻訳家・村岡花子について学習した内

「花子とアン」で注目の予感...

好きな甲州弁どれでえ？

好きな甲州弁はどれでえー。甲府市は7日までに、市のホームページ(HP)上で「甲州ちゃんばる」「えらい」「わ弁アンケート」を行って、市によると、アンケートは全20問。「よっシ(HP)上」で「甲州ちゃんばる」「えらい」「わ弁アンケート」を行って、市によると、アンケートは全20問。「よっシ(HP)上」で「甲州ちゃんばる」「えらい」「わ弁アンケート」を行って、市によると、アンケートは全20問。

市HPでアンケート

して結果を公表する。「花子とアン」では甲府市出身の翻訳家・村岡花子の半生が描かれる。登場人物のせりふには「こびつ」と「やてつ」などの甲州弁も取り入れられる予定で、市シティプロモーション課は「山梨の方言に對して、多くの人から注目が集まる。甲州弁や地元に着用を持つ一つのきっかけになればいい」としている。